

自然美を描き出す加賀友禪の 手仕事の技と心をたずねて工房へ。



武家文化の趣を残し、落ち着いた美しさが魅力の金沢の伝統工芸「加賀友禪」。浅野川のほとりに佇む創業100余年の工房「金丸染工」を訪ねて加賀友禪の歴史を体感しながら、若手職人・金丸絵美さんから加賀友禪の手仕事や新たな作品づくりについて話を伺います。作り手とのふれあいを通して心を豊かなひとときをお届けします。



金丸染工 新商品開発

Kanamarusenko/New product development

金丸 絵美さん

金沢市生まれ。滋賀県立大学生活デザイン学科卒業。会社員の経験を経て、'13年、金丸染工に入社し、金丸修一氏に師事。「あなただけのストーリーをデザインに」対話通して制作することを大切に新商品の企画・制作に取り組む。

金丸染工

1919年、かつて友禪流しが行われた浅野川沿いに染物屋として創業。現在は3代目金丸修一氏が加賀友禪の技を受け継いでいます。金丸染工から独立した7名の作家の悉皆も手がけており、工房では伝統を守りつつ、新しい試みにも挑戦しています。

加賀友禪とは

藍、藤脂、黄土、草、古代紫の加賀五彩を基調とし、草花や古典などをモチーフにした絵柄が特徴。外を濃く中心を淡く染める「外ぼかし」や「虫喰い」などの独自の技法が使われます。1着に10~15人もの職人が携わり、どの工程にも熟練の手技が求められるゆえ、高い価値を誇ります。



コンテンツの流れ 加賀友禪の工房や制作工程、巨匠の作品にふれ、下絵・彩色体験ができます。



解説

加賀友禪の特徴や分業制による工程を学び、知識を深めます。人間国宝・木村雨山作の着物との出会いも。



工房見学

川沿いの立地や地染のための長い土間など、多くの手を経て生まれる友禪の工程や職人の繋がりを肌で感じます。



下絵・彩色体験

露草の花の色を用いて輪郭を写し取る下絵体験や、糸目糊の内側に好みの色で手描き染めする彩色体験ができます。



作品の紹介

加賀友禪を活かしたタペストリーやポーチ、ガラス皿など、現代の暮らしに合わせて開発した作品をご紹介します。

定員

10名 最少催行人数2名

参加費 (消費税込)

36,000円/グループ

お申込み

主催者まで直接お申込みください。

※日程は応相談。

行程

現地集合

金丸染工

加賀友禪の解説・体験

約1時間

現地解散